

町民の皆様へ

国内では東日本大震災や熊本地震、地球温暖化の影響を受け、年々激しくなる大雨や台風など、大規模自然災害による被害が多発しています。

本町においても、令和2年7月に発生した「令和2年7月豪雨」では、土砂崩れによる住家の被害や大雨による床上・床下浸水被害、農林水産業や商工・観光業の被害、ライフラインや公共施設の被害等、大きな爪痕を残しました。

防災の基本は、日頃から災害に備えることや早めの避難などを行う「自助」、地域で協力して助け合う「共助」、行政や消防、警察等による「公助」の3助ですが、大規模災害発生時には、まずは「自助」「共助」の力が何より重要です。

今回作成しました「大崎町総合防災マップ」は、町内各所の土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域及び津波浸水想定区域の他に、防災に関する多くの情報を掲載しています。今後のご家庭や地域での防災活動等にご活用頂き、災害による犠牲者のでることのないよう災害に強い、安心・安全な大崎町を築くための一助となることを切に願っております。



大崎町長 東 靖弘

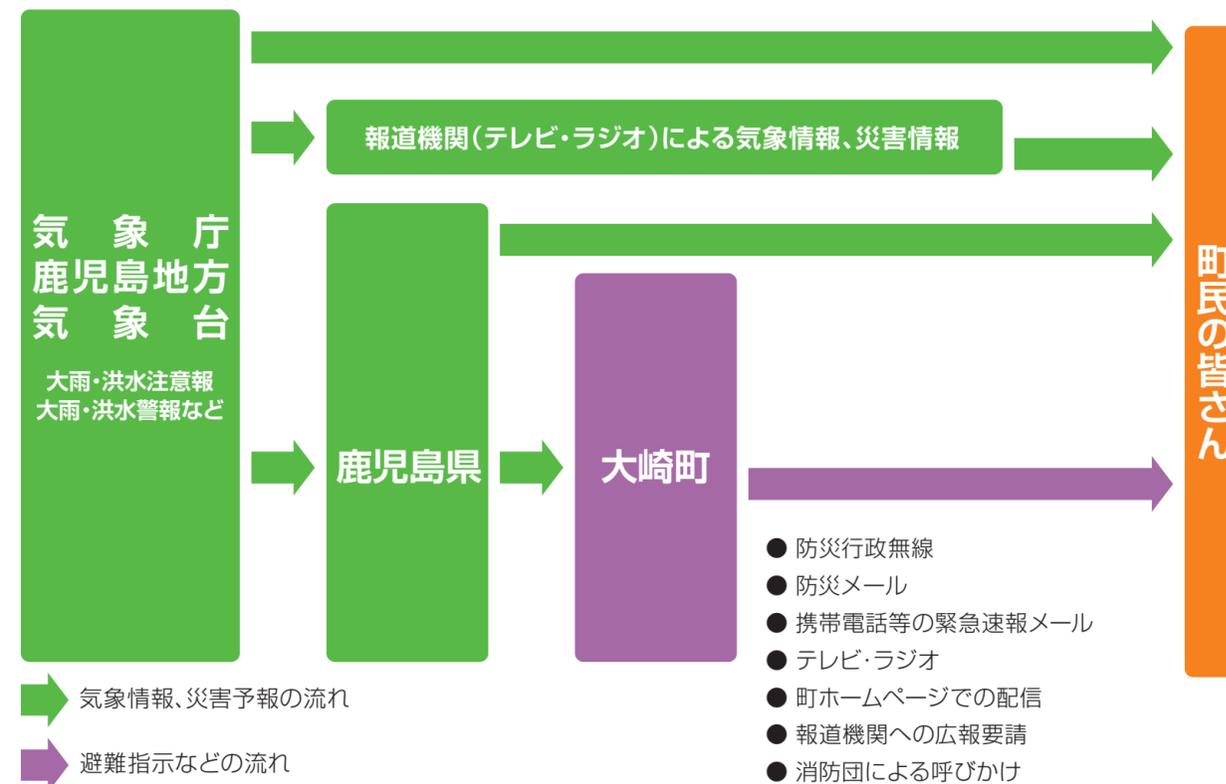
索引

ご挨拶・目次・奥付	緊急時の連絡先	15
防災対策	避難行動ガイド	16
わが家の防災対策	災害時の避難のポイント・ペットとの同行避難	17
備蓄品および非常持ち出し品	避難所の利用について	18
自主防災組織	感染症対策	19
土砂災害	災害時要支援者の安全対策	20
洪水・浸水害	応急手当	21
地震	指定緊急避難場所・指定避難所・福祉避難所一覧	22
津波・津波を知ろう	津波避難場所・ドクターヘリ離着陸場所・消防団詰所一覧	23
風水害・台風	マイタイムライン	24
火災	マップの見方・使い方、地図の凡例	25
警戒レベルを用いた避難情報	大崎町全体図	26・27
防災気象情報	MAP1～15	28～57
防災情報の伝達と入手	わが家の防災・緊急情報メモ	裏表紙

防災対策（町民の皆さんのご協力をお願いします）

気象情報・防災情報などの流れ

災害に関する注意報や警報が発表されたら、町からの情報に注意してください。



災害に備えて

●家族で防災会議をしてみましょう

家族で話し合うこと



災害は、いつどこで起こるか予測しがたいものです。災害が起こった時、被害を最小限に食い止めるためには日ごろからの備えが大切です。万が一に備え、家族の行動、避難所や避難方法、連絡方法などを日ごろから家族でよく話し合っておきましょう。また、災害に備えて家の中と外をチェックし、危険な場所は早めに改善するようにしましょう。

- 家の中ではどこが安全か。
- 救急医療薬品や消火器などを備えているか。
- 避難するところはどこか、どのような経路を通過して避難するか。
- 避難するとき、誰が何を持ち出すのか、非常時持ち出し品はどこに置くか。
- 家族間の連絡方法と最終的に出会う場所はどこにするか。
- 昼の場合と夜の場合の避難の方法はどのようにするか。
- 家族の役割分担はどうするか。
- 地域の防災活動に参加できるかどうか。

大崎町総合防災マップ

発行 | 大崎町役場 総務課
 曾於郡大崎町仮宿1029番地
 TEL 099-476-1111

制作・著作 | 株式会社ゼンリン 鹿児島営業所
 鹿児島市中町11番4号 熊谷ビル3F
 TEL 099-223-0740
 ©2022 ZENRIN CO.,LTD.

無断で複写、転載することはご遠慮ください。著作権者に無断で本誌の全部、または一部を複製及び転載することは著作権法により禁止されています。

「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R2JHs 293-756号」
 「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R2JHs 294-342号」
 「この地図は、大崎町長の承認を得て、大崎町都市計画基本図を使用して調製したものである。（承認番号）大総第181号」
 「JIS Z 8210 広域避難場所、避難所（建物）、津波避難場所」

【お断り】

本文中の地図は弊社地図データを元に作成しております。また、住宅地図による現地調査情報、編集独自の細かな情報収集も加えて制作しております。作成には細心の注意を払って編集作業を行っておりますが、データ量は膨大であり日々変化する現状と地図面が一致しない場合があります。また目録名称等は見易さを優先し正式名称などを一部割愛して表現しております。申し訳ございませんが、何卒ご了承いただけますようお願い申し上げます。